



『自殺に傾いた人への電話相談支援～若者のこころの特徴と対応～』

電話相談や相談窓口等で、さまざまな生きづらさを抱え、自殺に傾いた人と出会う機会がありますが、落ち着いて適切な対応をするには、知識や相談スキルを身につける必要があります。

本研修では、若者のこころの特徴を理解し、電話相談におけるリスクアセスメント、傾聴と共感等、相談支援の基本的コミュニケーション技法を学びます。

また、演習やロールプレイ等を通して、効果的な相談スキルを身に付け、日々の相談場面での対応力の向上をめざします。

日時 令和5年8月4日（金） 10時から16時まで

場所 ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）5階 特別会議室
（大阪府中央区大手前1丁目3-49）
<https://www.dawncenter.jp/>

対象

- ・大阪府内（大阪市・堺市を除く）の保健所・保健センター、市町村の保健・福祉関係部署で、精神保健福祉業務を含む相談支援業務に従事する職員
- ・府内（大阪市・堺市を除く）高・中等教育学校・支援学校の職員・教育関係者（生徒指導担当・保健担当等含む）
- ・府内大学、専修・各種専門学校等、教育機関の職員（定員：40名）

内容

- 講義
 - ・電話相談と面接相談の違い
 - ・援助（共感）的コミュニケーション技術
 - ・若者のこころの特徴について
 - ・「聴くこと（傾聴）」とは
 - ・基本的対応とリスクアセスメント
- 演習
 - ・反復
 - ・声のトーン
 - ・オープンクエスチョン
 - ・クローズドクエスチョン
 - ・反射
 - ・明確化
- ロールプレイ
 - ・リスクアセスメントの対応事例
- グループワーク

講師 関西福祉科学大学大学院 教授
関西福祉科学大学社会福祉学部 学部長 都村 尚子 氏

その他

- ・申込み締切り後に受講決定通知を送付します。
- ・発熱、呼吸器症状のある方は参加をお控えください。

[申込み方法] 申込みフォームから直接お申込みください。

こころのオアシス <http://kokoro-osaka.jp/>（研修→[自殺対策研修](#) →「J-4」）

申込みフォーム (<https://lgpos.task->

<asp.net/cu/270008/ea/residents/procedures/apply/527acc5d-0916-4d46-9632-a45c49ceb981/start>)

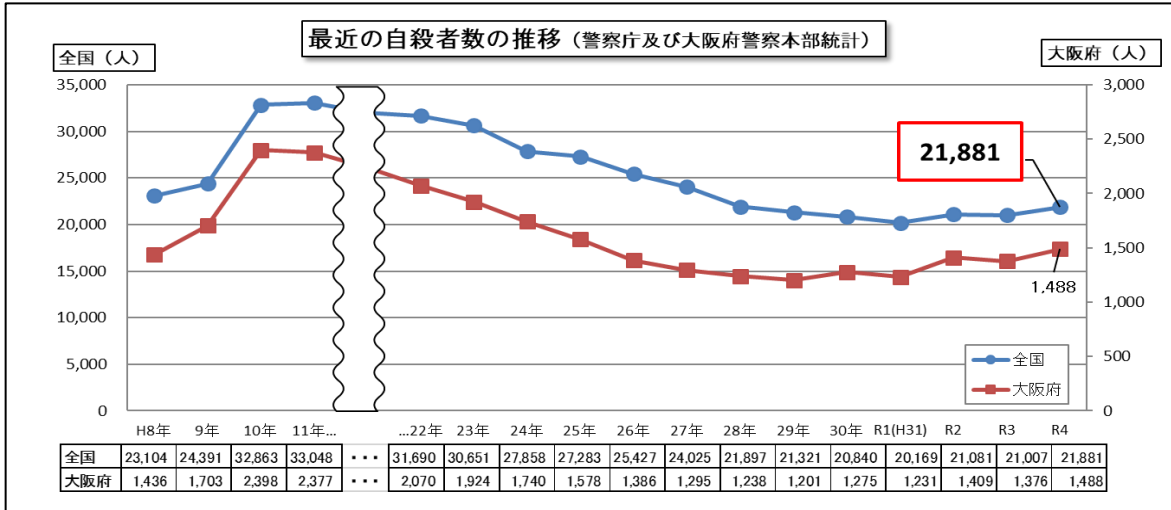
①氏名（ふりがな） ②職種 ③従事年数 ④所属機関名（例：大阪府こころの健康総合センター、〇〇大学、〇〇短期大学）⑤所属課名（例：事業推進課、学生支援課、健康管理センターなど）
⑥電話番号 ⑦受講動機 ⑧講師への質問

[申込み締切り] 令和5年7月21日（金）17時まで

*1 機関より複数参加申込みのあった場合は人数調整をする場合があります。

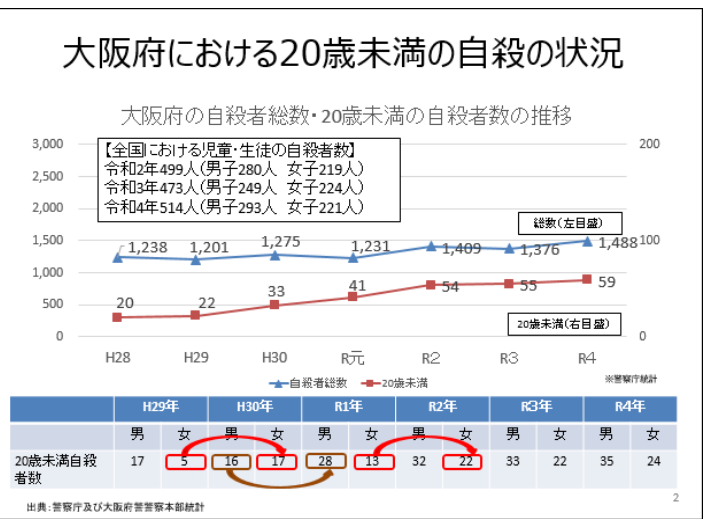
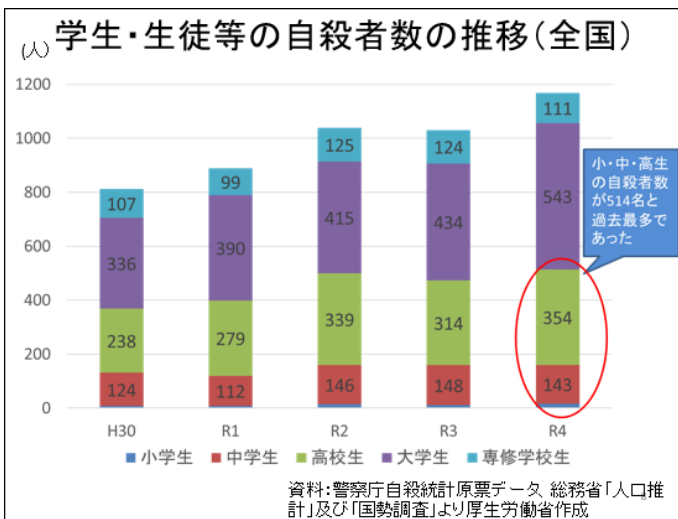


1. 大阪府の自殺の現状



令和4年の自殺者数は、全国、大阪府ともに増加し、全国では前年より874人増の21,881人となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の拡大といった要素があり、自殺者数が11年ぶりに増加した令和2年より多い状況です。大阪府では、1年間に1,488人、1日当たりでは4人以上の方が亡くなられており、依然としてたくさんの方の命が失われる深刻な状況が続いています。

2. 若者の自殺の現状



全国の学生・生徒の自殺者数のうち、小・中・高校生の自殺者数は増加傾向にあり、令和4年は514人で過去最多という状況でした。また、大阪府の20歳未満の自殺者数も、男女ともに増加傾向で、令和4年は過去最多の59人で、若年層への自殺対策が急務です。

若者の自殺は遺族や社会への影響が非常に大きいことから、関係機関が連携し、必要な取り組みをきめ細かに実施することが必要です。

大阪府こころの健康総合センター 事業推進課
 TEL:06-6691-2810 FAX:06-6691-2814
 e-mail:kenkosogo-g22@sbox.pref.osaka.lg.jp HP:このころのオアシス

